

## 令和4年度授業評価アンケート結果に基づく 令和5年度の授業改善計画報告書

令和4年度授業評価 アンケート結果について	非常に不満	不満	普通	満足	非常に満足	その他
	2%	0%	44%	52%	0%	2%

	全くできなかった	できなかった	どちらでもなし	出来た	よく出来た	その他
シラバスに基づいた授業展開	0%	1%	6%	54%	39%	0%
シラバスに記載したCP, DPの対応	0%	2%	17%	59%	22%	0%
来年度に向けた改善点の抽出	0%	0%	15%	70%	15%	0%

令和4年度授業評価 アンケート結果による 自己評価(抜粋)	今年度も昨年度に引き続き平均を上回る結果を出すことが出来た。また昨年度の改善課題であったフィードバックの項目の結果を改善できた。
	ある程度「出来た」とは思いますが、改善点は複数あると考えます。受講者の知識に合わせて、授業内容や進度をより工夫できるとよかったですと思います。
	前年度同様にオンライン授業も多く、対面でできることをどのように行うかは難しいところがあった。ただ、うまく両者を組み合わせ取り組む努力はできた。一方で、多くの学生がオンデマンド動画を選んでしまうことは、何とか対応したかったが学生の参加を高めることは難しかった。一部科目で、プレゼンの機会を取り入れて、学生の積極性を高めることができたが、それでも参加してこない学生への対応に苦慮した。
	授業に参加するにあたり予習や復習、課題等が学生にとってまだ十分でないことがアンケート結果により、把握された。学生目線での資料作成や授業内容だけでなく、引き続き、授業前後も踏まえた授業教育改善をする必要がある。事前学習を増やすための施策や課題を少し難しくしたり、分量を増やす必要もあることも視野に入れて授業教育改善を図っていきたい。
	内容は好評だが教材に一部改善点が必要である。

令和5年度に向けて、 授業改善を行いたい項目 (複数選択可)	授業計画(シラバス内容)	教材の開発	授業の準備	教授法	成績評価	クラスルームの活用
	26%	33%	37%	61%	22%	33%
	その他(ペア・グループワーク、アクティブ・ラーニングなど)					
9%						

令和5年度の授業改善計画 (抜粋)	コロナ禍で対面授業の機会を持ち続けることは、大学生のキャンパスライフを考えると、科目履修以上の意義があることを痛感しました。そのため、極力、キャンパスで受講してよかったと思えるような工夫を施しました。オンライン授業経験で得たノウハウを、今後の対面授業の質向上に活用できるように尽力していきます。
	質問をclassroomで待つだけでなく授業中に時間をとるなど発言の機会を創出したい。課題をだすなど授業外での予習復習の機会を設けたい。
	学生がより自主的に授業に取り組むよう、誘導する。
	学生の予習・復習への意欲に課題が残る。教員がサポートできる範囲は限られているが、自主的な学びの姿勢に向かえるサポートを心がけたい。
	5年度の授業は全て対面式に切り替わるため、学生とのコミュニケーションを図り、授業後の小テスト意外にも自由に質問できるような雰囲気作りを行っていきたくです。また、引き続きクラスルームを併用し、教材やアナウンス事項、テスト、出席取りを行いたいため、学生のクラスルームの利用状況も確認していきたくです。